30年後のめざすべき姿

　第2次総合計画に掲げる市の将来像は「人と自然が織りなす　しあわせ実感都市　瀬戸内」。暮らす地域にかかわらず、市民一人ひとりが、自然に恵まれ、安全・安心に暮らせるまちの中で、夢と希望を持って健康に暮らし、このまちに生まれてよかった、住んでよかったと思える、幸福が実感できるまちをめざし、市民一人ひとりが幸福を実感することで、地域の幸福をも実現するということを意味しています。

　では、将来像を実現するため、具体的には、どのようにまちづくりを進めていくのでしょうか。

　本計画では、主役である市民の年齢や生活形態、置かれている状況などの違いに着目し、それぞれの状態（セグメント）ごとに30年後のめざすべき姿を展望しました。

　これは企業のマーケティングの考え方であり、市民の皆さんを「顧客」としてとらえ、その状態ごとに必要とされるサービスを提供していくことを基本にしたものです。

　25に区分したセグメントの実現方法を40の施策としてとりまとめ、具体的な取り組みを進めます。

　ここでは、主なセグメントのめざすべき姿と取り組みをご紹介し、あわせて市民の皆さんのその姿に対する現在の実感度（平成22年度市民まちづくり意識調査数値）と平成32年度における目標値を紹介します。

年齢別セグメント

■乳幼児（0～5歳）とその家庭

安心して子どもを出産し、育てることができるまちをつくります。

《主な取り組み》
- 就学前教育を推進
- 家庭教育に関する情報や学習機会・集いの場を提供
- 保護者のニーズにあった保育サービスを提供
- 健全な子どもの成長と保護者の育児不安を解消

《実感度》　現状値 53.3%　→　目標値 70.0%

■小・中学生・高校生（6～18歳）とその家庭

子どもたちが夢を持ち続けられるまちをつくります。

《主な取り組み》
- 道徳教育を推進
- 学力を向上
- 家庭の事情にあった支援を推進
- 子どもの健全育成のための経済的支援を推進

《実感度》　現状値 36.7%　→　目標値 50.0%

■青年期・壮年期（19～44歳）

住んでいることを誇れるまちをつくります。

《主な取り組み》
- 子育て家庭を支援する多様なサービスを提供
- 安心して暮らせる住宅を供給
- 市の分譲宅地の販売を促進
- 雇用機会の創出・拡大
- 社会基盤やライフラインを整備

《実感度》　現状値 44.6%　→　目標値 60.0%

■中年期（45～64歳）

子どもと一緒にこのまちに住んでよかったと思えるまちをつくります。

《主な取り組み》
- 市民のニーズに応じた学習機会を提供
- 働き盛りの市民の健康づくりを支援
- 心の健康づくりを推進
- 市民の主体的な地域活動の支援

《実感度》　現状値 49.4%　→　目標値 65.0%

■高齢者（65歳～）

元気に暮らせるまちをつくります。

《主な取り組み》
- 医療提供体制を整備
- 高齢者の生きがいのある暮らしを応援
- 介護予防
- 家族介護者や介護予防に関わるボランティアを育成
- ニーズに合った介護・福祉サービスを提供

《実感度》　現状値 50.3%　→　目標値 65.0%

生活形態などによるセグメント

■人権を尊重する市民
だれもがいきいきと明るく暮らせるまちをつくります。
《主な取り組み》
人権教育の推進、男女共同参画社会の実現
《実感度》　現状値 42.3%　→　目標値 80.0%

■学ぶ市民
互いに学びあい、教えあい、人がつながるまちをつくります。
《主な取り組み》
身近な学習活動の場所を整備、多様なスポーツ活動を支援
《実感度》　現状値 39.6%　→　目標値 60.0%

■健康で自立した生活を願う市民
元気でいきいきと暮らせるまちをつくります。
《主な取り組み》
食育の推進、健康づくり活動への意識啓発
《実感度》　現状値 49.9%　→　目標値 75.0%

■医療を受ける市民と医療従事者
いつでも安全に安心して医療サービスが受けられるまちをつくります。
《主な取り組み》
新たな病院の整備、救急救命講習の実施
《実感度》　現状値 44.0%　→　目標値 75.0%

■障がい者
毎日明るく、明日へ希望が持てるまちをつくります。
《主な取り組み》
障がい者の自立を支援、障がい者の就労と社会参加を推進
《実感度》　現状値 26.4%　→　目標値 50.0%

■瀬戸内市に生活（通勤・通学を含む）する人
愛着が持てる・誇れるまちをつくります。
《主な取り組み》
塩田跡地の活用、高速通信環境の整備、消防力の強化
《実感度》　現状値 31.4%　→　目標値 60.0%

■犯罪のない安全な生活を願う市民
地域みんなで防犯に力を入れるまちをつくります。
《主な取り組み》
防犯意識の向上、防犯灯の整備
《実感度》　現状値 38.7%　→　目標値 60.0%

■災害に対応する市民
防災体制が整った、災害に強いまちをつくります。
《主な取り組み》
自主防災組織の結成を促進、魅力ある消防団づくり
《実感度》　現状値 34.2%　→　目標値 60.0%

■農水産業従事者
農水産業で生活できるまちをつくります。
《主な取り組み》
地域ブランドを創出、後継者を確保、遊休農地を解消
《実感度》　現状値 29.0%　→　目標値 50.0%

■商工業従事者
意欲的に事業に取り組めるまちをつくります。
《主な取り組み》
経営の安定化と活性化を支援、企業誘致に向けた環境づくり
《実感度》　現状値 21.8%　→　目標値 50.0%

■観光客・観光産業従事者
にぎわいと活気のある観光のまちをつくります。
《主な取り組み》
観光施設のサービス向上、おもてなしマイスターの育成
《実感度》　現状値 22.7%　→　目標値 50.0%

■将来の市民
すばらしい自然や景観、伝統、歴史・文化が引き継がれたまちをつくります。
《主な取り組み》
歴史・伝統文化を継承、協働によるふるさとの風景を保存
《実感度》　現状値 58.9%　→　目標値 80.0%

　今後は、厳しい財政状況の中で、限られた経営資源（人・モノ・金）を選択・集中することにより、戦略的かつ重点的に取り組みを進めていく必要があります。

　また、各施策にも数値目標（指標）を設定し、達成状況をできるだけわかりやすく示し、その進捗を管理しながら取り組みを進め、市民の「しあわせ実感度」を高めていきたいと考えています。

　しかし、地域が抱えている課題への対応は、市の取り組みだけでは十分とはいえません。

　私たちのまちのことは、私たちが決定し、自らの責任において地域の課題解決に取り組む時代が到来しています。

　市は、市民に正確で十分な情報を積極的に発信・公開することにより、地域、市民団体、企業などと意識を共有化し、お互いにその力を発揮できる機会をつくります。新しいまちづくりに向けて、ともに知恵を出し合い、汗を流しましょう！

■問い合わせ先
政策調整課
☎0869-22-1113
HP http://www.city.setouchi.lg.jp/data/2sogokeikaku.html